



# 今に生きる



令和2年度 日進市立日進西中学校 学校だより 2021.2.25 発行

多くの読者を引きつけるミヒヤエル・エンデ作の「モモ」。「時間どろぼうと、ぬすまれた時間を人間にとりかえしてくれた女の子のふしぎな物語」と副題がついています。この物語の登場人物、ベッポについて紹介し、時間について考えたいと思います。

「道路掃除夫ベッポは自分の仕事が気に入っていて、ていねいにやりました。とても大事な仕事だと自覚していたのです。ゆっくりと着実にやりました。汚れた道路を目の前に、きれいになった道路を後ろにして進んでいると、人に説明することのできない言葉で表現できないような考えが浮かんできます。

ところが、時間どろぼうのわなにはめられたベッポはうってかわった働き方になってしまいます。時間を節約するためだけに働き、せかせかと、仕事への愛情など持たずに、懸命に働き続けます。人を気に掛けることなく急いで掃除し続けます。そのやさしい顔はげっそりやせて、青ざめています。ひげをそる時間も惜しんだために、あごにぶしょうひげがのびています。」

どうでしょう。彼の心の有り様が浮き彫りになっています。効率だけを求めて時間を有効に使おうとすればするほど、まわりの人との関わりが希薄になり、視野が狭くなり、幸せな時間がなくなっていってしまいます。

時間をどう使っていくと幸せを感じられるのでしょうか。

一人で時間を使うときも、時の経過を感じ、振り返ることにより、幸せをかみしめることができるでしょう。また、家庭や社会での共同生活は、周りの人と共に時間を使っていく機会が多くあります。気持ちを通わせて同じ時間を過ごすことにより、幸せを一層強く感じられるでしょう。世の中にあるたくさんの物語、ドラマも、「幸せとはどういうことか」ということについて描かれているように感じます。

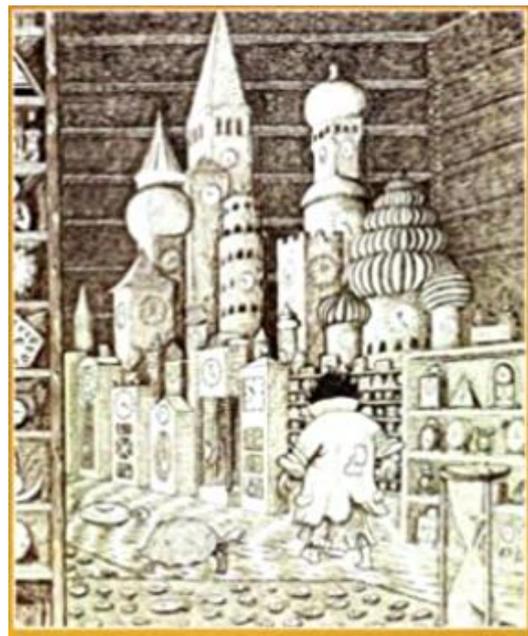
このお話の登場人物マイスター・ホラはモモに話します。

「人間はじぶんの時間をどうするかは、じぶんじしんできめなくてはならない。だから時間をぬすまれないように守ることだって、じぶんでやらなくてはいけない。」

効率のみを求め、そこに感情や愛情が漂っていないとき、時間がぬすまれているのかもしれない。

心豊かな、幸せな時間の使い方をしたいですね。さあ、どのように時間を使いましょうか。

【文責：教頭】



(岩波少年文庫 表紙絵)